

フラッシュ



JA青森

健康成就願い 組合長がリンゴ祈願 (1/5)

JA青森長谷川春樹組合長は、青森市浪岡の浪岡八幡宮を参拝し、浪岡産リンゴの消費拡大や健康成就、1月末に名古屋市で行うトップセールスの成功を祈願した。御祈祷を受けた「健康成就 祈願リンゴ」は、トップセールスの会場となるイオンモール熱田店でリンゴを事前購入したお客様にプレゼントした。



JAつがるにしきた

リンゴ剪定講習会 剪定技術の向上を目指す (1/17)

JAつがるにしきたつがるりんご部会は、高品質リンゴの安定生産を目指し、管内2ヶ所で丸葉リンゴ剪定講習会を開いた。つがる市柏地区の園地で行われた講習会には、生産者ら約50人が参加した。

参加者は雪が降りしきる中、剪定する講師の技術をしっかりと目に焼き付け、アドバイスに耳を傾けていた。



JAあしよつがる

雨被害の生産者支援 受付を開始 (1/10)

JAあしよつがるは、昨年8月の豪雨で被災した組合員のうち、自治体の支援対象者に対し、自治体支援額の30%を上乗せ(上限なし)補助することを決定し、申請を受け付けした。

受付に際し、自治体が発行する交付決定通知書を活用し、申請者の負担を軽減。2月にも受付期間の設定を予定し、3月末までの交付を目指す。

東地区ちいきの絆食堂とコラボ 餅つき大会開催 (1/7)
JAつがる弘前は、同JA本店で、子ども食堂や学習支援活動を行う東地区ちいきの絆食堂と共催で餅つき大会を開いた。同地区内の親子ら約30組が参加した。餅米は、同JA組合員が提供したものを使用し、参加者らは「よいしょ」と掛け声をかけ合いながら力いっぱい杵を振り上げ餅つきを楽しんだ。



JA相馬村

自家製野菜や果樹で「ほしもち」作り (1/19)
JA相馬村加工施設で、冬の風物詩の「ほしもち」作りが行われている。湿気の少ない気候を生かして極寒期につくられる保存食で、かぼちゃ、ハックルベリー、リンゴなど自家製野菜や果樹を用い、8種類の色どりをする。3月まで1日あたりもち米48kgを農家女性3人で加工し、直売所「林檎の森」にて販売をする。



JAつがる弘前

JA津軽みらい



学んで笑って健康に (1/18)

JA津軽みらいは、藤崎町で「食と笑いがもたらす健康講座」を開いた。JA共済の「地域・農業活性化積立金」を活用した地域貢献活動として、同JA管内の組合員ら約400人が参加した。

健康講座は、管理栄養士の三浦琢志が講師を務め、歌とトークのショーでは、歌手の麻生しおり、和太鼓アーティストのKANTA、オスカルが会場を盛り上げた。

JAゆうき青森



今年1年の安全輸送を祈願 (1/4)

JAゆうき青森は、本所営農センターで今年の安全輸送を祈願し、初荷出立式を行った。

参加者一同で安全祈願し、牛乳で乾杯をした後、管内のナガイモやニンニクを積載したトラック2台が「初荷」の旗を掲げ、関係者約60人に見守られ出立。関東ヘナガイモ774ケースとニンニク30ケース、中京・京阪神ヘナガイモ817ケースを出荷した。

JA十和田おいらせ



年金セミナー 年金の知識を高める (1/14)

JA十和田おいらせは、本店で年金セミナーを開いた。年金受給者や受給予定者15人が参加し、年金制度の改正点や、年金受給時の繰り上げ、繰り下げのメリット、デメリットなどについて説明を受けた。

セミナーは毎年農閑期である1月を中心に行う。利用者からは「農閑期で参加しやすく、ゆっくりと話が聞ける」などと人気が高い。

JAおいらせ



育てた藍で藍染めに挑戦 (1/18・19)
JAおいらせ女性部三沢支部は、同部員21人が参加し、藍染め教室を開いた。
使用した藍の葉は女性部が活動の一環として2021年に栽培し、収穫、乾燥させたもの。色素を抽出した液体にストールと手拭いを浸して取り出すと、初めは黄緑色だったが空気に触れ徐々に鮮やかな藍色に変わっていき、参加者からは驚きの声が上がった。

JA八戸



ネギをふんだんに使い料理講習会 (1/13)

JA八戸は、南部町で新人職員と女性部との料理講習会を行い、新人職員2人と部員7人が参加した。同JAでは、食農教育や地産地消に力を入れており、職員と女性部員の交流を通じ、管内の農産物の良さや生産者の声を身近に感じ学び、業務に生かしていくのが狙い。

参加した職員は料理ごとにネギの切り口をかえ、ネギのかき揚げやグラタンなどを作った。

東北・北海道地区JA青年大会 3年ぶりの現地開催！

東北・北海道農協青年組織協議会は1月18、19日の両日、弘前市で「令和4年度東北・北海道地区JA青年大会」を開いた。東北、北海道から約160人が参加し、各道県代表者からの発表の他、大会宣言が満場の拍手で採択され、3年ぶりの実開催の大会は、コロナ禍以前の人と人との繋がりを直接再確認できる、意義深い大会となった。

JA青年の主張発表では、JA摩周湖青年部の牧之瀬佳貴さんが、JA青年組織活動実績発表ではJA新得町青年部の百瀬雄二さんが（いずれも北海道代表）、それぞれ最優秀賞に輝いた。

牧之瀬さんは「より魅力ある新規就農から地方創生を考える」と題し、酪農農家として新規就農に至った経緯から、3Kのイメージを払拭し若者に農業が魅力的に見える取り組みを紹介。「6次化」「乳製品の輸出」などの実践状況を提示し、厳しい情勢下でも地域に密着した営農活動を継続していきたいと力強く語った点が評価された。

百瀬さんは「学校給食プロジェクト「Sランチ」～特別な給食からいつもの給食を目指して～」と題し、2016年から新得町で実施の食農教育の取り組みを紹介。地元の農畜産物を使った給食を保育園・保育所や小学校で導入。新型コロナウイルスの影響も受けながらも、地域住民や関係団体を巻き込んだ、継続的で丁寧な「地産地消」の取り組みが評価された。

また、2日目に行われた研修会では作業療法士で、ユークロニア（株）代表取締役社長の菅原洋平氏が「脳の多様性～ニューロダイバーシティ～」について講演を行った。



▲最優秀賞を獲得した牧之瀬さん（左）、百瀬さん

JAグループで高病原性鳥インフルエンザの防疫作業を支援

令和4年12月15日に三沢市の農場で発生した高病原性鳥インフルエンザについては、国内でも過去最大の規模（139万2228羽）となりました。

防疫作業は、初め県・市町村職員および自衛隊

で進めていましたが、早期終息を図るためには作業に従事する人員の増強が急務となり、県からJAグループへ人員の派遣依頼がありました。

JAグループは12月23日～29日の期間、各連合会から1日4班体制（各班5～7人、6時間作業）で延べ約150人、県南4JAからも延べ約80人が防疫作業を支援しました。

支援した職員の皆様におかれましては、大変ご苦労様でした。



▲防疫作業の様子1（県の報道機関用提供資料より）



▲防疫作業の様子2（県の報道機関用提供資料より）

行事（2/10～3/10）

2月

- 10日 会計基礎研修会（県農協会館）
- 14～15日 管理者研修会（第3回）（県農協会館）
- 17日 人事労務研修会（県農協会館）
- 20日 資産査定担当部課長会議および引当業務研修会（県農協会館）
- 22日 協同間提携合同研修会（県農協会館（Web併用））

3月

- 2～3日 非常勤理事研修会（ホテル青森）
- 6～7日 経営管理研修会（県農協会館）
- 8日 認知症サポーター養成講座（県農協会館）
- 8日 定例理事会（県農協会館）
- 8日 県参協定例会（県農協会館）
- 9～10日 監事監査研修会（県農協会館）

JAバンク公式キャラクター「よりぞう」のSNSができました

JAバンクでは、2022年12月12日（月）に、よりぞう公式 Twitter「よりぞう【JAバンク公式】@yorizo_ja」を開設し、よりぞうの紹介や占など楽しいコンテンツを毎週投稿している。

また、よりぞう公式 LINE「よりぞう【JAバンク公式】」をリニューアルし、プロフィールや友だち登録時のメッセージを一新。タップしたくなるリッチメニュー（トーク画面下部に固定で表示されるメニュー機能）を設定したほか、毎月1回よりぞうの4コマ漫画を掲載している。

JAバンクでは、よりぞうを使ったコンテンツを通して様々な世代との交流を広げ、JAバンクへの理解促進を図り、魅力ある情報を発信していく。

◎ よりぞう公式 Twitter



◎ よりぞう公式 LINE



【アクセスはこちらのQRコードから】



よりぞう公式 Twitter



よりぞう公式 LINE

2022年度 第2回目の防犯訓練を実施

農林中央金庫青森支店では、1月16日（月）に青森警察署みなみ交番の指導のもと、2022年度第2回目の防犯訓練として窓口強盗襲撃模擬訓練を実施した。

訓練は、二人組の強盗が来店客を人質に窓口に残れ、現金を強奪して逃走するという設定で行われた。

訓練が始まると、強盗役の警察署員の怒号で事務室内は緊張感に包まれたが、参加した職員はそれぞれの持ち場で決められた役割に基づいて冷静に対処し、訓練は無事終了した。

その後、みなみ交番の平野所長による講評と防犯指導が行われた。

主な指導内容等は次のとおり。

- ▶ 来店客や来訪者へのあいさつや声かけが、顔を覚えられることを嫌う犯人への牽制になることに加え、犯人に職員の防犯意識の高さを印象付けることで、自店舗を狙った犯行を思いとどまらせる効果がある。
- ▶ 一人で複数の犯人の特徴を記憶しようとせず、それぞれの職員が、犯人の中から一人を選んで観察した方が効率もよく、記憶も曖昧になりにくい。
- ▶ 犯人が逃走した後は、犯人が直接手で触れた場所や落としていった物に、絶対に手を触れないこと。

当支店では、今後も定期的に防犯訓練を行い、支店内の防犯体制強化と防犯意識向上に取り組んでいく。



▲平野所長の指導に真剣に耳を傾ける職員

行事（2/10～3/10）

農林中央金庫

2月16日 JAバンク青森運営協議会専門委員会（県農協会館・ウェブ会議）

3月8日 青森県JA信用担当部課長会議（県農協会館・ウェブ会議）

農協電算センター

3月8日 定時取締役会（県農協会館）

青森県花の共進会表彰式並びにあおもり花き振興セミナー

JA全農あおもりと青森県は12月13日、青森市の県総合社会教育センターで「第48回青森県花の共進会表彰式並びにあおもり花き振興セミナー」を開いた。入賞者や生産者など関係者ら約40人が参加し、7月の審査会で選出した入賞者11人を表彰した。

最優秀賞・農林水産大臣賞として表彰されたのはJAつがるにしきたの小見山晴雄さん。出品したトルコギキョウ（ハピネスホワイト）が選ばれた。

またセミナーでは、花きの品質保持技術についての講演やトルコギキョウの斑点病に関する情報提供があった。

7月の審査会には県内の花き生産者から計115点の出品があった。

最優秀賞以外の上位入賞者は次の通り。

▽優秀賞＝木村昭弘（アルストロメリア・青森市）千沢正知（トルコギキョウ・JA八戸）佐野純一（輪ギク・同）

▽金賞＝藤森光明（輪ギク・JAごしょつがる）出町圭吾（グラジオラス・青森市）水梨良文（ディスプレイスバッドマム・JA八戸）福地秀俊（ひまわり・JA津軽みらい）古川次男（アルストロメリア・JA津軽みらい）名古屋正浩（スターチス・JA青森）澤田健吾（かすみ草・JAつがるにしきた）



▲表彰を受ける最優秀賞の小見山さん

「第2回牛乳ごっくんキャンペーン」プレゼント抽選会

JA全農あおもりと青森県牛乳普及協会は12月

14日、青森市の県農協会館で、11月1日から12月10日まで展開した令和4年度第2回目となる牛乳ごっくんキャンペーンのプレゼント抽選会を開いた。合計9778件の応募の中から、当選者200人を決定した。

賞品としてギフトカードを20名、飲むヨーグルトセットを100名、などをプレゼント。外れた方の中から抽選で45名にはオリジナルグッズを贈った。



▲抽選する担当者ら

農林水産物歳末市

JA全農あおもりは12月28日、第17回目となる農林水産物歳末市を青森市の県農協会館で開いた。

家族みんなで来場して欲しいという願いを込め、お米大使とゲームができるちびっ子コーナーを設置。多くの家族連れで賑わい、「お米大使に会えて嬉しい」と喜ぶ子どもたちが多くいた。

また、県産のりんご、ながいも、ごぼう、にんにくやおもり和牛、りんごジュースなどをお買い得価格で販売した。特にながいもやりんごの「こみつ」が好評で早々に売れ切れとなった。

その他、なまこ等の水産物や、なべ焼きうどん、切り花などをそろえた。

来場者先着300名



▲お米大使とのゲームを楽しむ子ども

を対象とした抽選会も実施し、楽しめるイベントに。

歳末市は、県産農畜産物の消費拡大と地域貢献を目的に毎年年末に開いているもの。

今回は3年ぶりの通常開催。令和2年と3年は、コロナ禍の影響で予約注文形式をとっていた。

ながいも・にんにくフォーラム

J A全農あおもりは1月13日、十和田市のJ A十和田おいらせ本店で「令和4年度ながいも・にんにくフォーラム」を開き、入賞者や生産者など関係者ら約90人が参加した。ながいもは1月12日、にんにくは令和4年9月に審査会を実施。選出した入賞者14人を表彰した。

最優秀賞として表彰されたのはJ A十和田おいらせの寺澤和夫さん（ながいも）と同J Aの熊野雅人さん（にんにく）。2人には農林水産大臣賞が授与された。

ながいもは全体の大小・形状の揃い、肉付き、毛穴や表面の凹凸の少なさを審査。にんにくは全体の大小や形状、乾燥や表皮の状態などを審査し選出した。

このほか、4年8月の大雨の影響でながいもの品質低下が多く見られたことから、排水対策の事例紹介や試験中の内容について共有があった。

フォーラムは、栽培技術のレベルアップと高品質多収生産を目的とし、生産者および関係者の意識向上を図るために毎年開いているもの。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り（敬称略・かっこ内はJ A名）

▽ながいも

優秀賞 = 土橋佳孝（八戸）、優良賞 = 立崎由紀子（十和田おいらせ）成田勝敏（同）向井徳敦（ゆうき青森）岡山雄哉（同）駒澤慎（おいらせ）

▽にんにく

優秀賞 = 元澤和幸（八戸）、優良賞 = 東昇（十和田おいらせ）立崎洋史（同）長根一男（おいらせ）木野幸助（同）工藤幸（つがるにしきた）



▲表彰を受ける寺澤さん⑤

行事（2/10～3/10）

2月

15～16日 購買担当者窓口研修会（県農協会館）

3月

8日 運営委員会（県農協会館）

毎月放送！「Fresh Vegetable」

12月16日放送

J A津軽みらい

「アルストロメリア」



放送内容はこちら



12月23日放送

J Aゆうき青森

「黒にんにく」



放送内容はこちら



1月13日放送

J A八戸

「寒締めほうれんそう」



放送内容はこちら



今後の放送スケジュール 夕方6時56分から！

- ・ 2月10日 J A十和田おいらせ「ながいも」
- ・ 2月24日 J Aおいらせ「にんにく」
- ・ 3月10日 総集編

令和4年度JA共済全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール入賞者決定

JA共済連は、令和4年11月21日に書道コンクール、11月30日に交通安全ポスターコンクールの全国審査会を開催し、書道は大賞にあたる「農林水産大臣賞」、「文部科学大臣賞」の計16点（条幅の部8点・半紙の部8点）、交通安全ポスターは大賞にあたる「内閣府特命担当大臣賞」、「農林水産大臣賞」、「警察庁長官賞」、「文部科学大臣賞」の計12点を決定した。

両コンクールは、共済事業の理念である相互扶助と思いやりの精神を、次世代を担う小・中学生へ伝えていくとともに児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に「書道コンクール」を、また、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚を図り交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的に「交通安全ポスターコンクール」を開催しており、地域貢献活動（文化支援活動）の一つとなっている。

今年度で、書道コンクールは66回目、交通安全ポスターコンクールは51回目の開催を迎えた。

書道は29,573校の小・中学校から1,005,072点、交通安全ポスターは6,031校から99,779点の応募作品が寄せられた。

全国コンクールには、これらの応募作品の中から、各都道府県コンクールにおいて優秀な成績をおさめた書道837点（条幅の部：416点、半紙の部：421点）、交通安全ポスター343点の審査が行われた。書道コンクールの審査会では、高木聖雨氏（日本芸術院会員・日展理事）をはじめとする審査員が審査を行い、交通安全ポスターコンクールの審査会では、中島祥文氏（多摩美術大学名誉教授・アートディレクター）をはじめとする審査員が厳正なる審査を行い、入賞作品が決定された。

青森県からは、書道半紙・条幅の部、交通安全ポスターの部、最優秀賞計27点が全国コンクールへ出展された。書道の部は、全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞4名、佳作1名が入賞した。交通安全ポスターの部は、警察庁長官賞1名、家の光協会会長賞（ちゃぐりん賞）2名、全国共済農業協同組合会長賞・佳作1名が入賞した。受賞した皆さんおめでとうございます。（受賞者は以下の通り）

書道の部

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞

半紙の部

野呂 瞬翔さん（板柳町立板柳南小学校3年）

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞

半紙の部

佐々木 胡春さん（黒石市立中郷中学校3年）

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・佳作

半紙の部

白川 茉莉愛さん（藤崎町立常盤小学校5年）

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞
条幅の部

奈良 智哉さん（青森市立浪打小学校4年）

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・銅賞

条幅の部

鎌田 泰輔さん（青森市立浪岡中学校3年）

交通安全ポスターの部

「警察庁長官賞

木村 啓人さん（弘前大学教育学部附属小学校3年）

「家の光協会会長賞（ちゃぐりん賞）

柳谷 虹奈さん（青森市立浜田小学校1年）

「家の光協会会長賞（ちゃぐりん賞）

葛西 日彩さん（大鰐町立大鰐小学校5年）

「全国共済農業協同組合連合会会長賞・佳作

工藤 優奈さん（弘前大学教育学部附属中学校2年）

2月3日（金）には、東京都内で大賞受賞者の表彰式が行われる予定である。



▲交通安全ポスターの部で警察庁長官賞を受賞された木村啓人さんの作品

行事（2/10～3/10）

2月

10日 拡大共済担当部課長会議（県農協会館）

14日 仕組改訂・事務改善事項研修会（リモート）

21日 仕組改訂・事務改善事項研修会（リモート）

3月

8日 運営委員会（県農協会館）

令和3年農業産出額及び生産農業所得（青森）

農業産出額は3,277億円、東北1位、全国7位

表 農業産出額上位10品目（青森）

順位	青 森			全国順位
	品 目	産出額	構成割合	
		億円	%	位
	農業産出額計	3,277	100.0	7 (7)
1	りんご	1,027	31.3	1 (1)
2	米	389	11.9	12 (11)
3	ブロイラー	227	6.9	4 (4)
4	鶏卵	223	6.8	9 (9)
5	豚	221	6.7	11 (11)
6	にんにく	207	6.3	1 (1)
7	肉用牛	161	4.9	14 (14)
8	やまのいも	124	3.8	2 (2)
9	ごぼう	82	2.5	1 (1)
10	生乳	78	2.4	19 (16)

注：1 順位付けは、秘密保護上統計数値を公表していない品目を除いたものであり、原数値（100万円）により判定した。
2 () は前年の全国順位である。

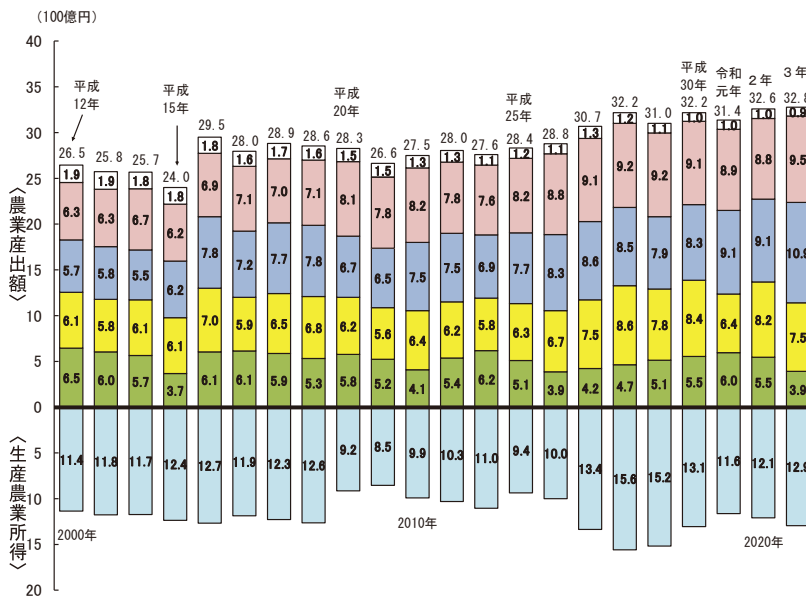
令和3年青森県の農業産出額は、前年に比べ15億円（0.5%）増加し、3,277億円となり、7年連続で3,000億円を上回りました。東北では18年続けて1位となり、全国順位も7位となっています。

青森県の農業産出額上位10品目をみると、りんご、にんにく、ごぼうは全国1位、やまのいもは2位、ブロイラーは4位となっており、りんごは初めて1,000億円を上回りました。

部門別の構成割合をみると、青森県は主要部門でバランスが取れた構成となっています。

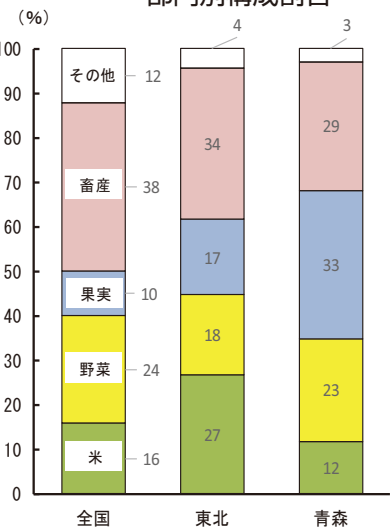
生産農業所得は、前年に比べて83億円増加し、1,294億円となりました。

図1 農業産出額及び生産農業所得の推移（青森）



資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

図2 農業産出額の部門別構成割合



注：全国は、都道府県別農業産出額の合計値である。

実践 農業者支援

職業紹介事業の適正な運営に向けて

現在、本県では、全てのJA（一部、子会社）において、無料職業紹介事業を実施している。そのような中、厚生労働省（労働局）では、定期指導監督を実施し、事業運営上の不備事項等について、是正、改善を求めている。今回は、その指導内容に基づき、今後の事業運営上の留意点を紹介する。

【指導監督の実施状況】

令和3年度における全国の職業紹介事業者に対する指導監督の実施件数は、約4,300件となっている。そのうち、約8割にあたる3,500件において文書指導が行われている。

【違反の多い内容】

指導監督に際し、職業安定法に違反している主な内容は表1のとおりである。

【表1】職業安定法の違反が多い内容（令和3年度）

違反内容	割合
事業情報（離職者数等）が提供されていない	31.0%
取扱職種の種類等（求人者、求職者に対する職種等）が明示されていない	22.2%
労働条件等（求職者に対する賃金、労働時間等）が明示されていない	20.4%
帳簿（厚生労働省令で定める帳簿書類）の備え付けに不備がある	18.6%
事業報告（厚生労働省令で定める事業報告書）の内容に不備がある	7.8%

（厚生労働省資料を一部加工）

【本県JAにおける違反の多い内容】

本県においても、年間数JAが指導監督の対象となっている。その中で、是正、改善を求められた主な内容は表2のとおりである。

【表2】本県JAにおける指導監督時の主な指導内容

① 役員や職業紹介責任者の変更について、期日までに届け出されていない
② 求人者、求職者に対し、予め取扱職種、苦情処理体制について、書面等により明示していない
③ 業務の運営に関する規程が、一般の閲覧に便利な場所に掲示されていない
④ 求職者に対する求人情報の開示にあたり、開示を求めない求人者の情報を開示している
⑤ 業務の運営に関する規程が最新のものに更新されていない

（JAからの聞き取りによる）

【事業運営上の留意点】

（1）指導監督時の主な指導内容への対応

表2の指導内容に対する改善対策、留意事項は次のとおり。

①変更時の届け出

事業所の名称、所在地および代表者、役員に変更があった場合、変更日の翌日から10日以内、また、職業紹介責任者に変更があった場合、変更日の翌日から30日以内に届け出が必要となる。

②取扱職種、苦情処理体制の明示と、③業務の運営に関する規程の掲示

J A内での職業紹介を行う部屋の壁等には、最新の業務の運営に関する規程を掲示する。そのうえで、求人者、求職者が職業紹介に訪れた際には、掲示している業務の運営に関する規程を活用し、「取扱職種、苦情処理体制」を明示、説明することで足りる。

④開示を求めない求人者情報の開示

本会が運営する「青森県農業労働力求人マッチングサイト」では、求人者の情報を入力することで、「求人申込書」が出力される。しかし、求人者によっては、開示を求めないケースもある。そのため、開示を求めない求人情報については、ホームページでの公開はもちろんのこと、通常の求職者公開も行わないことが必要である。

⑤業務の運営に関する規程の更新

③に記載したとおり、職業紹介を行う部屋の壁等には、最新の業務の運営に関する規程を掲示する必要がある。そのため、本会をはじめとする関係団体からの情報により、規程変更は速やかに実施する必要がある。特に、令和4年10月に職業安定法が改正され、その施行に伴い、J A無料職業紹介事業所の「業務の運用に関する規程」の変更が必要となる。(青農中農対発第222号 令和4年11月16日発出済み)

(2) 無料職業紹介事業の適正な運営に向けて

近年、1日バイトアプリ等の普及により、無料職業紹介所への求人、求職件数が減少する傾向にある。しかし、人手に苦勞する農家組合員全てがアプリを利用しているわけではなく、高齢の方を中心に無料職業紹介所の利用頻度は高く、その果たす役割は大きい。そのため、引続き、J Aでの無料職業紹介事業は、組合員や働き手である求職者から信頼されるものでなければならず、職業安定法をはじめとする法令に遵守することが不可欠である。

指導監督時の指導事項にあるとおり、従事する業務について、法令の求めどおり遂行できていないこともある。そのため、青森労働局が作成している「職業紹介事業の運営に係る自主点検票」を活用し、定期的実施内容を確認することが求められる。

(中央会 農業対策部)



組織農政通信

農業についての学びとお米・ごはん食の理解を深める

J Aグループ青森では、毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現するという課題で、県内の小・中学生を対象に、「青森県ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールを毎年実施している。

本コンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施している。

1. 応募校数および応募点数の推移

令和4年度の作文部門の応募校数は55校、応募点数は249点、図画部門の応募校数は72校、応募点数は205点となった。
(別表参照)

作文部門では、お米に関わる体験を通して、家族の温かさや周りの人々への感謝の気持ちが綴られた作品が多く寄せられた。

図画部門では、応募点数が前年度よりも少なかったものの、応募校数が増え、お米・ごはん食の大切さを理解した作品の応募が多数あった。

(別表)青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール
応募校数および応募点数の推移

【作文部門】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	応募校数	応募点数	応募校数	応募点数	応募校数	応募点数
第1部 (小1～小3)	28	24	32	23	33	22
第2部 (小4～小6)		35		44		47
第3部 (中1～中3)	24	189	23	160	22	180
合計	52	248	55	227	55	249

【図画部門】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	応募校数	応募点数	応募校数	応募点数	応募校数	応募点数
第1部 (小1～小3)	61	68	61	115	66	114
第2部 (小4～小6)		56		71		65
第3部 (中1～中3)	8	15	5	77	6	26
合計	69	139	66	263	72	205

2. 審査会の実施

令和4年9月30日、県農協会館で第41回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの審査会を実施した。

審査基準に基づき、各部門共に、青森県知事賞、青森県教育委員会教育長賞、青森県農協中央会会長賞、優秀賞を決定した。



審査風景：作文部門



審査風景：図画部門

3. 表彰式の実施

令和4年12月11日、ホテル青森で、第41回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの表彰式を開催した。

作文部門で蛭澤太一さん（七戸町立天間林中学校3年）の「自慢の手作り米」、図画部門で田村唯さん（八戸市立白山台小学校3年）の「ドライブではいつもおにぎり」が最高賞の県知事賞に輝いた。



賞状とトロフィーを授与される蛭澤さん



表彰式集合写真

蛭澤さんの作品は、「生まれてくる孫の為に米作りを再開した祖父母の想いと、その米作りを手伝う本人の想いが暖かく表現され、明日への希望を感じられる作品」として評価された。

田村さんの作品は、「ドライブの車内で家族がおにぎりを食べている雰囲気がとてもよく伝わり、食べる姿を生き活きと表現した作品」として評価された。

次世代を担う子どもたちを対象に、農業についての理解醸成・お米の重要性の周知に向けた取組みを今後も前向きにすすめていき、食・農に興味をもってもらうきっかけにしたい。

（中央会 農業対策部）

経営の窓口

◆人口減少下で考えるJAの収益性向上の方策とは

1. はじめに

日本国内の総人口は、2008年をピークに減少しており、農業市場規模の縮小の可能性も高まっている。国内の基幹的農業従事者数は136万人（2020年）であるが、2030年には83万人、2050年には36万人にまで減少することが予想されている（JA全中資料より）。そして、この傾向は本県においても例外ではない。この傾向が続くことは各JAの存立基盤をも揺るがしかねないことを意味するが、歯止めをかけることも容易ではない。さすれば、JAの収益性を向上させていくことが短期的および長期的視点に立ったときに重要となってくる。

現在、各JAにおいては自己改革工程表を作成し取り組んでいるところであるが、今回は自己改革の柱の一つである、「経営基盤の強化・確立」のうち、「収益性向上」に着目して説明していきたい。

2. 収益性向上の方向性

収益を向上させる方法としては大きく、「売上等の増加」と「各種費用の削減」の二つに大別される。各JAで持つ既存の業務での売上の増加を図ることは常々考えねばならないが、新規事業参入による売上・収益の増加は多くの産業で飽和状態となっている状況では容易でなく、実施するにも慎重な検討と長い時間を要することとなる。

そこでここでは、「各種費用の削減」による収益性向上について具体的に考えていく。

3. 経費削減

日々の多様な業務から費用の削減項目をリストアップすることは容易ではない。そこで、最優先で点検すべき事項・取引として、JA全中で発行した「費用削減の手引」より以下に列挙する。

- ①JAの事業遂行上不可欠でない経費（正准組合員、利用者にとって必須とは言えないサービス提供のための経費）
- ②一部の正准組合員、利用者の満足度を向上させる経費
- ③組織活動に要する経費
- ④地域貢献活動に要する経費
- ⑤広告、広報に要する経費
- ⑥費用対効果が明確になっていない経費
- ⑦随意契約、長期間特定の取引先となっている経費
- ⑧取引総額が多額となっている取引先からの仕入経費
- ⑨一年間分等、長期間分を一括仕入れしている経費
- ⑩過去からの成り行き、合併等の経緯で続けているイベント等の経費
- ⑪JAの古くからの慣習により支出している経費
- ⑫役員向け、特定の職員向けに支出している経費
- ⑬その他の10万円以上の経費

最後に「10万円以上の取引」を記載しているのは、多額の取引を優先した方が短期間でかつ多額の削減効果が見込めるためである。

廃止が不可能あるいは困難な経費については、新しいアイデアによる削減案を提案することとなる。一般的に経費支出削減案は、「質」と「量」あるいは「単価」と「数量」の観点で分類することができる。

観点	削減方法の例
質	支出する目的に対する達成水準の変更、材料・使用等の変更、代替物・サービスへの変更、J A慣行の見直し（カラーコピーの多用等）
量	余剰数量の削減、資料ページ・枚数の削減、消耗品在庫の共有管理、在庫管理の徹底
購入単価	インターネット調達の導入、購入先・委託先の変更、購入口ットの変更、購入時期の変更、複数社購買、リバースオークション（※）、物流や送付方法の変更
購入・消費数	外部委託の内製化、交際費の低額化や削減、出張数・外出数の削減、会議のペーパーレス化、小分け購入、広告の削減・広告方法の見直し

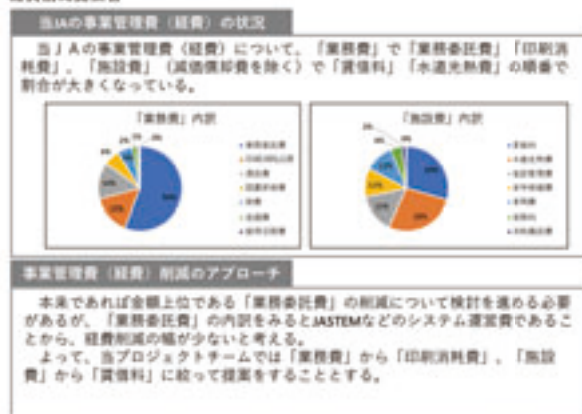
（※）買い手が提示した一定条件の下で売り手が見積書を提示し、その中から契約を行うこと

経費削減を進める際は、各部署から代表者を集めて検討するプロジェクト方式が推奨される。これは、自部署を離れることで客観的な検討ができること、経費削減のノウハウを共有できることにメリットがある。

そして、プロジェクト内で決定した削減案を役員へ提案する。役員の検討・承認を得た後はそれを実行に移すのみならず、P D C Aサイクルに乗せたうえで収益性の向上に寄与しているのか測定することも必要である。

経費削減提案書（イメージ）

経費削減提案書



経費削減提案書

具体的な削減提案				
部署	勘定科目	経費の内容	無駄と削減した理由	削減策
全部署	印刷消耗品費（業務費）	コピー代 18百万円	カードシステムにより、部署単位でコピー機の使用実態は把握しているが、詳細な分析がなされていない 複数業者と取引を行っている	・印刷単価の削減と使用量の削減を検討する。 ①印刷単価 ⇒相互見積り・業者の協力的による単価削減（印刷単価の選定化） ②使用量削減 ⇒部署単位で印刷量、カラーの使用状況、裏表印刷等、実態把握を進める。 ⇒その上で、カラー使用ルールや両面印刷等の全部署ガイドラインを設定する。
管理部署	支払料（施設費）	車両リース料 51百万円	車両の稼働率が部署によって異なるため	・車両台数の見直し（2台更新時） ⇒使用記録に基づき、車両の適正配分を実施する等、効果的な運用により、車両台数の削減を行う

4. さいごに

経費削減の取組みは直接的に指摘をすると、担当部署等から反発を招きかねない作業である。よって、「見える化」といった、削減すべき項目に気が付いてもらえる方法論の採用が大事である。早めの取組みがJ Aの安定運営に繋がることは言うまでもなく、J A全体での意識醸成を行うことが重要であり、実施することとなった際には本会も支援していく。

（中央会 経営対策部）

アイデア満載！～定食No.1 決定戦～

J A 十和田おいらせは令和4年11月1日～令和5年1月6日にかけて、管内主力米「まっしぐら」と農畜産物の消費拡大を目的とした「定食 No. 1 決定戦」を開いた。J A の部・支店、女性部、青年部ごとに職員と部員が管内の農畜産物2品以上を使って、アイデア満載の定食レシピを考案。地域住民や県内外から2,044票が集まった。開票の結果、20グループの中から、共済部が考案した「ガリバタトマトのやみつきステーキ」が253票を獲得し優勝した。

「ガリバタトマトのやみつきステーキ」は、肉質が柔らかく、とろける味わいの「あおり十和田湖和牛」と“コリコリつるん”とした食感が楽しめる「青森きくらげ」を使用している。トマトやピーマンの鮮やかな彩りとニンニクの香りで、ご飯が進む定食に仕上がっている。



優勝した
「ガリバタトマトの
やみつきステーキ」



投票する来館者

レシピを考案した生出隆太課長補佐は「管内のうま味がこの一皿で味わえる。大盛ご飯と具沢山のみそ汁と一緒に豪快に食べてほしい」とアピールする。

全てのレシピは当J A ホームページで公開している。

全てのレシピはこちらをチェック



地元産品で幕内錦富士を応援！

十和田市や地元17団体で構成する十和田市地域農業再生協議会は12月下旬、同市出身の大相撲幕内錦富士に化粧まわしを贈った。ニンニク産地にちなみ、ニンニクをイメージした十和田産品キャラクター「十和田にんにん」の刺しゅうがあしらわれている。錦富士は1月場所から、新しい化粧まわしを着けて土俵入り。「とても可愛いデザイン。地元のPRにつながる新しい化粧まわしは気が引き締まります。番付を駆け上がれるよう精進します」と同協議会にメッセージが届いた。

1月中旬には、同協議会とJ A 十和田おいらせの連名で、ファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」から同市の特産品の米300kg、ナガイモ、ゴボウ、ニンニク各10kg、「奥入瀬ガーリックポーク」30kgを郵送し、さらなるエールを送った。



千秋楽の打ち上げ式で労をねぎらった
小山田市長（中央）と畠山組長（左）
（提供：十和田市）



贈られた化粧まわしを着けて
土俵入りする錦富士
（提供：十和田市）

初場所千秋楽の1月22日に都内で開かれた伊勢ヶ浜部屋の打ち上げ式には、同協議会会長の小山田久市長やJ A の畠山一男組合長も出席し労をねぎらった。

令和4年度 職員資格認証試験結果の概要

～人材育成の強化が一層求められる～

1. 各種別の受験状況と試験結果

今年度の職員資格認証試験の結果がまとまった。

概要は、下表「種別」試験結果概要のとおり。

(1) 初級

受験者は110人で、前年度（130人）より20人減少した。すべての科目において全国平均点を下回り、合格者は79人と前年度（84人）より5人減少した。合格率は71.8%と前年度（64.6%）より7.2ポイント増加した。

(2) 中級

受験者は115人で、前年度（140人）より25人減少した。JA事業論・協同組合論では、県平均点が全国平均点を下回ったが、農協法とJA簿記会計の2科目で全国平均点を上回った。合格者は65人と前年度（88人）より23人減少し、合格率も56.5%と前年度（62.9%）より6.4ポイント減少した。

(3) 上級

受験者は112人で、前年度（158人）より46人減少した。JA財務・管理会計では、県平均点が全国平均点を上回ったが、JA経営管理・農業協同組合論とJA人事管理の2科目で全国平均点を下回った。合格者数は58人と前年度（97人）より39人減少した。合格率も51.8%と前年度（61.4%）より9.6ポイント減少した。

人と前年度（428人）より91人減少した。また、合格者数も202人と前年度（269人）より67人減少した。

3. 受験目的の再確認と人材育成の強化を

本稿に掲載していないが、組合別の合格率をみると、種別により50%を下回る組合もあった。認証試験の目的は、組合に従事する職員の資質を高め、技能を磨くとともに、職員の地位の向上（昇格等）を図ることにある。

認証試験の合格者を多く輩出することは、組合にとって、組合全般にかかる知識を有して、組合のため、組合員のため、職員のため等の立場に立って、対応できる職員を多く育成することにつながる。例えば、認証上級試験の受験科目の「経営管理・農業協同組合論」、「財務・管理会計」、「人事管理」は、前述の立場に立って、業務を遂行するために必要な知識であり、管理職として求められる知識である。

また、職員にとっても、認証試験に合格することは、合格一時金の支給、毎月の資格手当の支給、昇格基準の達成による昇格の機会等多くのメリットがある。

各組合においては、求める人材育成の強化のため、上級認証試験合格者保有率〇%（または保有者数◎人）のように、明確な目標水準を設定する等、資格取得に向けて引き続き取り組んでいただきたい。

（JA青森中央会 経営対策部）

2. 試験全体の状況

初級・中級・上級を合わせた受験者数は、337

「種別」試験結果概要

○初級

「科目別平均点等」

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	60点以上取得者(人)
J A 基礎	69.8	71.4	98	34	77
農業情勢基礎	65.8	66.3	93	32	69
J A 簿記基礎	62.7	65.8	96	22	67

「受験者数等」

	R04	R03	R04-R03
受験者数(人)	110	130	△ 20
合格者数(人)	79	84	△ 5
合格率	71.8%	64.6%	7.2%
科目合格者数(人)	11	27	△ 16

○中級

「科目別平均点等」

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	60点以上取得者(人)
J A 事業論・協同組合論	61.7	61.9	90	24	52
農協法	66.1	63.6	100	16	69
J A 簿記会計	65.9	63.6	100	13	62

「受験者数等」

	R04	R03	R04-R03
受験者数(人)	115	140	△ 25
合格者数(人)	65	88	△ 23
合格率	56.5%	62.9%	-6.4%
科目合格者数(人)	19	27	△ 8

○上級

「科目別平均点等」

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	60点以上取得者(人)
J A 経営管理・農業協同組合論	56.1	58.5	85	23	40
J A 財務・管理会計	60.3	59.2	100	17	57
J A 人事管理	67.5	68.2	100	18	65

「受験者数等」

	R04	R03	R04-R03
受験者数(人)	112	158	△ 46
合格者数(人)	58	97	△ 39
合格率	51.8%	61.4%	-9.6%
科目合格者数(人)	17	21	△ 4

令和4年度認証試験合格者名簿

初級 (79人)

JA名	氏名
青森	畑中麻希
青森	神勇佑
青森	田中貴子
青森	藤本晟波
青森	葛西聖人
青森	舘田響一
青森	工藤暁子
つがるにしきた	伊藤亜弓
つがるにしきた	工藤匡宗
つがるにしきた	秋田誉貴
つがるにしきた	荒関真奈美
つがるにしきた	葛西留実名
つがるにしきた	対馬真美
つがるにしきた	長内康平
つがるにしきた	加藤雄己
つがるにしきた	長谷川多可子
つがるにしきた	工藤詩乃
つがるにしきた	小沢浩太
つがるにしきた	井沼貴男
つがるにしきた	葛西彩乃
ごしょつがる	野宮幸樹
ごしょつがる	石岡英律
つがる弘前	工藤花梨
つがる弘前	能勢風香
つがる弘前	下山喜美
つがる弘前	鼻和佑名
つがる弘前	高杉信希
つがる弘前	菊池健彦
つがる弘前	鈴木大賀
つがる弘前	鈴木康太
つがる弘前	平田大輝
相馬村	児玉広樹
相馬村	工藤純輝
相馬村	成田大知
相馬村	小野恵子
津軽みらい	箱田竜亮
津軽みらい	工藤由真
津軽みらい	平田藍里
津軽みらい	山本桂大
津軽みらい	熊谷拓真

中級 (65人)

JA名	氏名
青森	林幸生
青森	三浦千鶴
青森	高橋歩夢
つがるにしきた	三浦朱里
つがるにしきた	竹浪教司
つがるにしきた	佐々木蓉子
つがるにしきた	蝦名諒汰
つがるにしきた	工藤美咲
つがるにしきた	相馬直樹
つがるにしきた	木村瞬
つがるにしきた	三上悌一
つがるにしきた	白川彩恵
つがるにしきた	粕谷大
ごしょつがる	福士一樹
ごしょつがる	伊藤純子
ごしょつがる	天間早紀
ごしょつがる	三浦佑也
つがる弘前	佐々木志歩
つがる弘前	葛西佳奈
つがる弘前	鳴海将貴
つがる弘前	対馬賢亮
つがる弘前	齋藤賢伍
相馬村	三上徹朗
相馬村	福澤雷也
相馬村	澤田翔
相馬村	山田理圭
津軽みらい	小舘春菜
津軽みらい	長内千恵子
津軽みらい	高井映里
津軽みらい	丸山郁哉
津軽みらい	小枝玲美奈
津軽みらい	栗林英寿
津軽みらい	兼平信太郎
十和田おいらせ	斗沢未来
十和田おいらせ	常田帆夏
十和田おいらせ	藤田和花
十和田おいらせ	羽田圭佑
十和田おいらせ	仲松満利子
十和田おいらせ	小山田友美
十和田おいらせ	平野央介

上級 (58人)

JA名	氏名	JA名	氏名	JA名	氏名
十和田おいらせ	佐々木 優 香	青 森	長 内 亨 公	十和田おいらせ	久 野 真 季
十和田おいらせ	小山田 侑 平	青 森	針 生 和 哉	十和田おいらせ	蛭 名 航 洋
十和田おいらせ	安 井 和 貴	青 森	成 田 夕 人	十和田おいらせ	野 月 麻 衣 子
ゆうき青森	乙 崎 恵 梨	青 森	藤 本 惇 太	十和田おいらせ	吉 崎 友 恵
ゆうき青森	高 畑 利 生	つがるにしきた	中 畑 恵	十和田おいらせ	佐々木 康 博
ゆうき青森	吹 越 奈 穂	つがるにしきた	斉 藤 翼	十和田おいらせ	苫米地 栄 明
ゆうき青森	上 崎 櫻 華	つがるにしきた	福 士 譲	十和田おいらせ	漆 畑 圭 織
おいらせ	中 村 結 沙	つがるにしきた	船 水 聖 也	十和田おいらせ	古 川 麻 衣 子
おいらせ	織 笠 曜	つがるにしきた	三 浦 大 介	十和田おいらせ	野 村 晋 也
おいらせ	山 田 健 太 郎	つがるにしきた	成 田 聖 裕	十和田おいらせ	山 田 智 史
おいらせ	杉 山 愛	つがるにしきた	工 藤 慎 吾	十和田おいらせ	山 端 暖 子
八 戸	手倉森 翔 允	つがるにしきた	神 徳 臣	ゆうき青森	伊 藤 里 美
八 戸	相 内 優 作	つがるにしきた	七 戸 孝 臣	ゆうき青森	吹 越 哲 也
八 戸	田 中 俊 宏	つがるにしきた	下 山 清 秀	ゆうき青森	柴 田 良 一
全農あおもり	山 添 泰 介	ごしょつがる	鈴 木 教 博	ゆうき青森	田 沢 知 子
全農あおもり	山 形 拓	ごしょつがる	高 橋 明 伸	ゆうき青森	富 浦 安 奈
全農あおもり	織 笠 光 平	ごしょつがる	佐々木 絵 美 子	おいらせ	田 鎖 靖 久
全農あおもり	葛 西 逸 平	ごしょつがる	工 藤 康 子	おいらせ	林 幸 多
全農あおもり	成 田 こな美	ごしょつがる	工 藤 大 貴	おいらせ	松 石 澄 恵
全農あおもり	田 中 嗣 巳	ごしょつがる	島 谷 一 輝	おいらせ	吉 田 万 里 子
全農あおもり	笠 井 洋 介	ごしょつがる	堀 内 美 和		
全農あおもり	飯 田 裕 樹	ごしょつがる	古 川 和 寿		
中 央 会	村 上 雄 大	ごしょつがる	増 田 綾 子		
中 央 会	小 堀 晃 生	つがる弘前	阿 保 美 穂		
中 央 会	中 村 勇 穂	つがる弘前	佐々木 健 太		
		つがる弘前	高 橋 美 咲		
		つがる弘前	工 藤 遥		
		津 軽 み ら い	山 中 奈 々 江		
		津 軽 み ら い	鈴 木 賢 司		
		津 軽 み ら い	伊 豫 部 雄 大		
		津 軽 み ら い	丹 代 和 希		
		津 軽 み ら い	久 塚 和		
		津 軽 み ら い	齋 藤 清 人		
		津 軽 み ら い	三 上 貴 紀		
		津 軽 み ら い	工 藤 広 司		
		津 軽 み ら い	長 尾 賀 子		
		十和田おいらせ	山 端 友 貴		
		十和田おいらせ	沼 村 拓 朗		

合格おめでとうございます。



輝き

農林中央金庫 青森支店
営業第二班
木下 諒 さん

●プロフィール
2020年4月から勤務 神奈川県横浜市出身 24歳

働くきっかけは？

公共性の高い仕事に就きたいと考えていた中で農林中金を知りました。祖父母が農家だったこともあり、第一次産業を通じて地域貢献ができる点に惹かれて入庫しました。

業務内容を教えてください。

農業法人向けの融資営業を行っています。融資のみならず事業相談や販路開拓など、取引先の課題をともに解決し、付加価値向上を目指して業務を行っています。

働いた感想は？

自分には知らないこと、足りないことが多いと感じました。特に今まで接したことのない農業の分野において、自分があまり詳しくなくても、先方の社長はエキスパートなので話についていけるよう日々勉強が必要だと感じました。

仕事をする上で、日頃心がけていることは？

情報を取得するアンテナを敏感にしたいと思っています。県内や業界の情勢に応じた動きが求められるなか、通常業務で手一杯なときに情報を得るチャンスを逃すことも多々あるので、なるべく時間を作って情報を得る努力をしていきたいです。

特技・趣味は？

野球が好きです。夏場のシーズンは毎日休日の野球のために仕事を頑張ってます。アウトドア系は全般的に好きで、夏は釣りに、冬はスノーボードによく行きます。

あなたが自慢できることは？

野球道具の数はあまり負けることがないと思います。社会人になり給料をいただくようになってから、調子に乗ってグローブが計7個、スパイクが計5足増えました。

将来の夢は？

様々な経験を積んで周囲から頼られるような人材になりたいと思います。プライベートでは、子供と野球がしたいです。できれば少年野球チームで選手とコーチとしてやってみたいです。

未使用タオルを施設に寄贈



タオルを寄贈される田中理事（左）

J A ゆうき青森女性部高齢者助け合い組織がおの会は、12月に七戸町の特別養護老人ホーム「天寿園」にバスタオルとタオルを寄贈した。この取り組みはSDGs（持続可能な開発目標）の「3. すべての人に健康と福祉を」「11. 住み続けられるまちづくりを」につながる。

同会では例年「地域サービス」として各地区の集会所で高齢者を中心に軽い運動や手芸などを行ってきたが、今年は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて中止となった代わりに活動として行った。バスタオルとタオルは、10月17日から12月9日まで同J A管内で寄付を募り同J A職員や女性部員、関係機関から約800枚のバスタオルとタオルが集まった。

えがおの会会長の沼山静子さんから受け取った天寿園の田中順司理事は、「たくさんのタオルをいただき大変ありがとうございました。大切に使用させていただきます」と感謝の気持ちを伝えた。

J A人の動き

○J A 常盤村養鶏

令和4年12月12日の理事会における役付役員の変更が取り消しとなりました。よって、代表理事組合長は、石澤 清行氏のままとなります。

催事カレンダー

開催日時	J A名	イベント名	開催場所	問合せ先		備考
				部署	電話番号	
2月9日～2月12日	J A全農あおもり	第18回 全農全国高等学校カーリング選手権大会	みちぎんどリームスタジアム（青森市）	広報宣伝総合課	017-729-8637	
2月11日～2月12日 9時30分～16時 ※12日は15時まで	J A全農あおもり	青森フェアin鹿兒島	おいどん市場 与次郎館（鹿兒島市）	広報宣伝総合課	017-729-8637	

誉

伝統野菜「筑石かぶ」
をつなぐ 柴田修治さん

「筑石かぶ」存続の中心となっている柴田修治さん
(青森市内で 11月4日)



青森市の伝統野菜「筑石(ざるいし)かぶ」。その名前は、筑石(ざるいし)村(現在の青森市久栗坂)の地名に由来する。在来種の赤カブである「筑石かぶ」を栽培する住民が1人になり、種が途絶えてしまう危機にひんしていたが、市役所や地域住民が立ち上がり、2021年から存続に向けた取り組みが始まった。22年は生産者が12人まで回復している。その中心となって取り組んでいるのが同地区の柴田修治さん(78)だ。

「筑石かぶ」は古くから漬物に重宝され、町内で生産する農家も多かったが、実が柔らかく調理しやすい現在の赤カブにとって代わられるようになり、徐々に姿を消していった。取り組みの初年度は「筑石かぶ」を栽培してくれそうな地域の方に柴田さんが声をかけ、自分もやってみたいという方々6人で栽培をスタートした。翌年には協力農家がさらに増え12人となった。栽培面積も約10㍍となった。収穫した「筑石かぶ」は販売も可能だが、現在は各家庭で漬物にしたり近所におすそ分けしたりしている。

「今後は栽培してくれる仲間をさらに増やし、途絶えさせることなく種をつないでいきたい。美味しい野菜だと知ってほしい」と柴田さんは話す。

後編 記集

旧暦2月を如月(きさらぎ)、新暦2月の別名、「如月」は中国での二月の異称を使ったもの。英語のFebruaryはローマ神話のフェブルウス(Februus)をまつる祭りから取ったと言われる。

2月14日はバレンタインデー、チョコレートの語源はメキシコ語のチョコラル=苦い水、メキシコではカカオ豆の煮汁を胡椒で味付けして飲んでいた。

2月22日は猫の日、鳴き声ニャン(2)ニャン(2)ニャン(2)の語呂合わせから、愛猫家からの公募で決められました。

恵方巻は七福神にあやかり、7種類の具が入って、これを切ると福を切る=縁を切るという意味になるので、切らないで食べるというようになりました。

以上、2月についてので豆知識でした。

それでは皆様、「SEE YOU ON MARCH!!」

(一)



ホームページアドレス

- J A 青森中央会 <https://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/>
イベントの様子、歳時記、産直・J A 情報などをご覧いただけます。
- J A バンク青森 <https://aomori.jabank.org/>
商品・サービスのご案内のほか、マネーシミュレーションや全国のJ A バンクへのリンク等をご覧いただけます。
- J A 全農あおもり <https://www.zennoh.or.jp/am/>
生産量日本一のりんご・にんにく・ごぼうをはじめとした農畜産物情報や活動状況、中古農機情報を紹介しております。
- J A 共済連青森 <https://www.jakyosai-aomori.jp>
J A 共済のご案内のほか、地域貢献活動の取組みを紹介しております。